

# 2021年の トップ10 BI/データ トレンド

2020年、私たちは迅速な対応力の必要性について学びました。今後、データアナリティクスはどのような役割を果たしていくのか。また、今後世界が混乱に陥った時、組織はどのように対処すべきか。

## SaaSは新しい無二の親友

2020年は、クラウドサービスの利用を増やして稼働し続けることが重要でした。今後は、SaaSへの切り替えに伴い、データベースおよびアプリケーションの移行が促進されます。その後、複数の情報源にあるデータにアクセスし、統合できるテクノロジーが追随します。



90%

GARTNER社の予測：

2022年までにデータとアナリティクスにおける革新の90%でパブリッククラウドサービスが必須になる。<sup>1</sup>

2

## セルフサービスから自主性重視のサービスへの移行

最近のGARTNER社の調査結果：

新型コロナウイルス後、少なくとも一部の時間をリモート作業に費やす可能性があると回答した従業員の割合が、感染症の世界的流行前の30%から48%に増加している。<sup>2</sup>

感染症の世界的流行前 30%

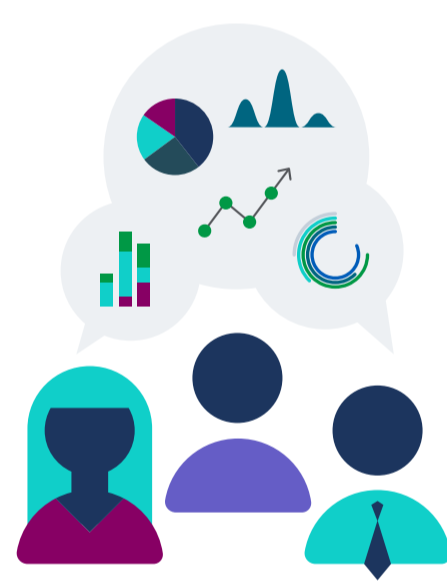
感染症の世界的流行後 48%

リモートユーザーにとっては、直観的な導入が非常に重要です。ユーザーはインサイトを求めているため、マイクロインサイトやデータストーリーの配信は今後増えていくでしょう。さらに、ユーザーがデータやインサイトに迅速にアクセスできるようにすることで、ビジュアライゼーションのセルフサービスから自主性重視のデータサービスへの移行が可能となります。



## 共有データ、ビジュアライゼーション、ストーリー共有の普及

2020年、データに関する情報が主流メディアで爆発的に増え、政治的な問題に発展しました。ビジュアライゼーションを超えて強調するには？技術的には、コンテキストの拡張は、より一般的なデータモデルやビジネスロジックによってサポートされます。しかし、データについて議論するには、知的誠実性も必要となります。



IDC社の予測：

2022年までに、「グローバル2000」に選出された企業の3分の1が、大規模なインサイト推進、持続的な信頼関係の構築、誤情報への対策を目指し、データリテラシー向上の取り組みを実施する。<sup>3</sup>

4

かつてないほど高まる最新かつビジネス対応データの重要性

5

見た目の違いを要求される高度なアナリティクス

6

不可欠な「代替」データの取り込みと統合

7

ビジネスプロセスの再エンジニアリングが主役に

8

競争、監視、セキュリティのコンパスの再調整

9

早期のコラボレーションの融合の必要性

10

大いなるデジタル転換による強制的なアナリティクスの世代交代

## 10のトレンドの全貌

2021年のBI/データトレンドに関するQlikのWebセミナーやeBookで、短中期的な予測をご確認ください。

eBookをダウンロード

Webセミナーを観る

### QLIKについて

LEAD WITH DATA Qlik

Qlikが描くビジョンは、すべての人がデータおよびアナリティクスを使用してより良い意思決定ができ、非常に困難な課題を解決できる、データリテラシーに富んだ世界です。Qlikは、データ、インサイト、アクション間のギャップを解消するエンドツーエンドのリアルタイムのデータ統合・アナリティクスクラウドプラットフォームを提供しています。データをアクティブインテリジェンスに変換することで、意思決定の質を向上し、収益および利益性の向上や顧客との関係性の最適化を実現することができます。Qlikは、世界100ヶ国以上、50,000社以上の顧客に向けて事業を行っています。